

令和二年度 大阪府立登美丘高等学校 第3回学校運営協議会 記録

○日時：令和3年1月26日（火）14：00～16：00

○場所：本校 会議室

○出席者：斎藤 巡友（桃山学院大学経営学部講師）、宮崎 久司（虹ヶ丘地区自治会長）、苜廣 啓史（同窓 会長）、藤田 有紀子（PTA 会長）、天野信治（野田中学校長）、薬師寺 広隆（第一ゼミナール金剛校 校長）

○欠席者：なし

○事務局：校長、教頭、古崎首席、益永首席、栗生進路部長

<次第>

1. 校長挨拶
会長挨拶

2. 報告

- ①令和2年度進路状況について
- ②令和2年度学校教育自己診断について
- ③令和2年度学校経営計画及び学校評価について
- ④その他

「意見書」の提出はなし

3. 協議

○主な意見・質問等

①令和2年度学校経営計画及び学校評価について

・学校教育自己診断について

保護者アンケートで昨年比マイナスが出ている項目（学校行事に満足している85%（R1_88%）学校に行くのを楽しみにしている84%（R1_86%）など）を具体的に学校は把握しているか

→数字と同時に記述にて意見もいただいているので、把握・理解し、改善に注力する。

・生徒アンケートの回答率は？

→今年は集計手法を紙から休校中のネットに変えたが、97%。生徒の真面目な気質が伺える。

・生徒指導に向けた課題感、また懲戒状況はどうか

→懲戒件数は年間2件ほど。SNS使用によるトラブルがある。携帯の使用がやはり課題と考えている。

・中学現場でも、全校生徒にPC配布が完了する等、大きな変化がある。高校でもICTに向けての大変さはわかるので、頑張ってもらいたい。

・同じく中学現場でも生徒からの申し出があり、2年後に向けて女子がスラックスを使用できるようにセーラー服からブレザーを検討している。「さん付け運動」は世の流れと考える。

・学校開催など中止した学校も多い中、登美丘は考えて実施してくれている事に感謝している。

②令和3年度学校経営計画（案）について

・中期的目標の数値等を確認し、「めざす学校像」「中期的目標」について承認される。

（座長まとめ）

このコロナ禍により、多くの制約も受けたが、新たな「何か」を始める良いきっかけになったのではないかと。ただ、コロナが収束したときに元に戻らないように、本日伺った新たな取り組みをぜひ発展して欲しい。また次年度の計画に合った「育成生徒像」において、登美丘の生徒と（自身が所属する）桃山学院の生徒と似ているところがある。やさしい、素直さに加えて「したたかに生き抜く力」を身につけて欲しいが、それには環境の力が大きいと思えるので、「自制心・回復力を備え、主体的で挑戦心にあふれ、且つ思いやり・気配りのできる」という生徒が育つ環境づくりを期待したい。

*令和3年度開催：第1回令和3年6月22日（火）、第2回9月11日（土）、
第3回令和4年1月25日（火）の予定